

2 . S H A S E - C P Dに参加する際にご承知いただきたいこと

(1) SHASE-CPDの枠組み (プログラム)

基本コース、技術士CPDコース、目標別コースなどを設けています。

C P Dは参加する方が自己の目標を設定し、実施することを基本としています。

C P Dとして何に取り組むかはそれぞれ個人により異なります。自己の設定した目標により、例えば受講する研修会等も違ってきます。

「目標別コース」には4つのコースがありますが、これは設備技術者の代表的な目標を示し、それに対応した研修会などを絞りやすくするために設定したものです。

なお、一度参加者登録をすれば、その後どの研修会も受講でき、コースを変えても、再度登録する必要はありません。

< 付属資料 1 . SHASE-CPDの枠組み (プログラム) > 参照

(2) 参加申込みから認定申請書までの流れ

最初に、参加申込みから認定申請書までの流れをご承知願います。

< 付属資料 2 . 参加申込みから認定申請書までの流れ > 参照

(3) 参加申込み

この「S H A S E - C P D案内」の最初のページにある「C P D参加申込書」をダウンロードしてください。

< 付属資料 3 . CPD参加申込書 > ... (「SHASE-CPD案内」の最初の頁)

< 申込み方法 >

「C P D参加申込書」をダウンロードしてください。			
C P D参加申込書に必要事項をご記入下さい。			
4,000円 (会費2,000円 , CPD手帳代2,000円 , いずれも消費税込み) を下記のいずれかで、お振込み願います。			
郵便振込のとき	名	義	社団法人 空気調和・衛生工学会 口座番号 00190-1-37842
銀行振込のとき	名	義	社団法人 空気調和・衛生工学会 銀行名 東京三菱銀行 京橋支店 口座番号 普通預金 : 1718753
振込受領書のコピーを「C P D参加申込書」の指定欄に貼り付け、ファックスまたは郵送してください。振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。			

(4) 自主的なプログラムの選択、計画的な実施

1) 自主的なプログラムの選択

CPDは、参加する方が自ら目標を設定し、実施し、自己評価することを基本としています。ご本人が、**目標を設定** **カリキュラムを計画** **実行** **自己評価** **新たな目標を設定** というサイクルです。

2) 計画的な実施

多くの設備技術者は所属する企業などで業務を行いながら、CPDに取り組むこととなります。現在の能力レベルと専門家としての目標を定め、計画的に取り組むことをお勧めします。

(5) CPD実施の形態

当学会では、自己研鑽の形態をもとに次の分類をしています。

- ・ 技術情報吸収など（技術講演会聴講、見学会参加、受験準備講習会受講など）
- ・ 企業内研修、OJT(*1)
- ・ 自己学習（企業内研修受講、会誌・専門書学習）
- ・ 業務経験（成果をあげた業務）
- ・ 研究・技術成果報告（論文・技術報告執筆、シンポジウム口頭発表など）
- ・ 情報提供・技術指導（技術解説記事・図書の執筆、学術講演会司会者、学会協会研究委員会委員など）
- ・ 講師（社内研修会の講師、大学などでの非常勤講師）
- ・ 受賞、資格取得、その他（学会賞などの受賞、学会設備士取得、関連資格取得、学位取得、その他）

*1 企業内研修・OJT：将来は、学会と各企業が協定を結ぶなどの方法で履修結果を認証しやすくすることを検討する予定。

当学会の「技術情報吸収など」は、一般には「集合型研修」と呼ばれ、研修会、講習会などのことです。

<付属資料4. 「技術情報吸収など」のうち当学会が提供する平成15年度集合研修(案) > 参照

(6) 設備技術者がCPDの対象とする分野と課題

CPDにおいては、領域ごとに技術者が研鑽の対象とする範囲(分野・課題項目・

内容)が定められています。当学会CPDにおいても、設備技術者が研鑽の対象とする範囲(分野・課題項目・内容)を定めました。上記(4)のいずれの形態で行われるCPDも、テーマとしては、<付属資料5>の表のいずれかの課題項目・内容を満たすものになります。

<付属資料5 . 設備技術者CPD分野と課題> 参照

(7) CPD履歴(実施結果)の記録

CPD履歴は、当学会が発行する手帳に記録していただきます。

研修会等を受講したときは、当学会が証明印かシールを貼ることになります。

<付属資料6 . CPD手帳記入例、留意事項> 参照

(8) 実施時間とCPDポイント化、年間目標ポイント

手帳に記録したCPD履歴は、ポイント化していただきます。このポイントがCPD実施の証となります。年間の目標ポイントは、50ポイントを基準目標とします。

これは、実務に携わる当学会の会員が従来行っている自己啓発に加えて更に努力することで達成可能なレベルです。

(参考)日本技術士会：年平均50ポイント、3年間で150ポイント

APECエンジニア：更新期間の5年間に250ポイント

<付属資料7 . ポイント表> 参照

(9) 業務経験と会誌、シンポジウムテキストなどによる自己学習

業務経験と会誌、シンポジウムテキスト等を自己学習することもポイントになります。この場合は、1年に1回、レポートを提出していただきます。

<付属資料8 . 自己学習、業務経験のレポートの記入例> 参照

同 記入用紙

(10) CPD履歴の集計期間

CPDの履歴の集計期間は、参加者の誕生月の翌月から次の誕生月までの1年間を期間とします。ただし、参加初年度のみ、参加申込みから2度目の誕生月まで(2年以内)が集計期間となります。

(11) CPD履歴の認定(登録)と次年度会費の支払い

1) 「CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書」の提出

CPD参加者は、年1回(誕生日の翌月)、当学会に「CPDポイント認定申請書」をお送り願います。これに基づき、当学会で参加者のCPD履歴を登録します。参加初年度は、参加申込みから2度目の誕生月の翌月となります。

「CPDポイント認定申請書」時に、次年度の会費をお支払いいただきます。

「CPDポイント認定申請書」は、「次年度会費払込通知書」を兼ねています。

<付属資料9 . CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書> 参照

2) 提出方法、次年度会費の払込方法

下記の方法をお願いします。

この「ガイドブック」の「CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書」をコピーして下さい。			
「CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書」に必要事項を記入下さい。 * 「CPD履歴登録のみ」、「次年度会費払込」欄に印をお付け願います。			
次年度会費2,000円(消費税込み)を下記のいずれかで、お振込み願います。			
郵便振込のとき	名	義	社団法人 空気調和・衛生工学会 口座番号 00190-1-37842
銀行振込のとき	名	義	社団法人 空気調和・衛生工学会 銀行名 東京三菱銀行 京橋支店 口座番号 普通預金：1718753
振込受領書のコピーを「申請書」指定欄に貼り付け、郵送願います。 振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。			
*1. CPD履歴の中に「業務経験」、「自己学習」があるときは、レポートを添付して下さい。			
*2. レポートは、付属資料8「業務経験、自己学習レポートの記入例」参照。			
*3. 申請書は、当学会ホームページからダウンロードできます。 記入例に準じた様式であれば、手書きでも差しつかえありません。			
*4. CPD履歴の登録は無料です。			

(12) 認定証の発行、認定証を希望するときの請求方法

認定証は、参加者ご本人が提出した「CPDポイント認定申請書」に基づいて、添付された業務経験、自己学習のレポートを確認して、発行します。

認定証を希望する際は、原則として年1回の「CPDポイント認定申請書」時にお

願います。請求方法は下記により願います。

この「ガイドブック」の「CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書」をコピーして下さい。	
「CPDポイント認定申請書・次年度会費払込通知書」に必要事項を記入下さい。 *「CPD履歴登録と証明書請求」、「次年度会費払込」欄に印をお付け願います。	
お支払いいただく額は、下記となります。	
次年度会費	2,000円（消費税込み）
認定証発行手数料	基本コースの場合 1,000円（消費税込み） 技術士コースの場合 2,000円（消費税込み）
上記の額を下記のいずれかで、お振込み願います。	
郵便振込のとき	名 義 社団法人 空気調和・衛生工学会 口座番号 00190-1-37842
銀行振込のとき	名 義 社団法人 空気調和・衛生工学会 銀行名 東京三菱銀行 京橋支店 口座番号 普通預金：1718753
振込受領書のコピーを「申請書」指定欄に貼り付け、郵送願います。 振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。	
* 業務経験レポートなどの扱いは、CPD履歴登録のみのときと同様です。	

(13) 実務に携わる方は、何ポイント程度を取得できるのか

モデル技術者を設定し、この方がとれるポイントを試算しました。これは、参加者が従来通りの自己啓発に加えてさらに努力することで達成可能な目標です。

< 付属資料10 . CPDポイントモデル想定 > 参照

(14) 会誌、シンポジウムテキストなどの自己学習のための資料提供

当学会が保有するシンポジウムテキストなどを利用いただけるよう整備します。

< 付属資料11 . 学会が保有するCPDコンテンツの紹介 > 参照

(15) 参加したときにかかる費用は

< 付属資料12 . 費用一覧表 > 参照

以上のような業務は、当学会の中に設置する「CPDセンター」が行います。